

## 岡山理科大学で先端研究所研修を実施

8月1日（月）に本校普通科・理数科の2年生の希望者23名が岡山理科大学での先端研究所研修に参加しました。

午前には、恐竜学博物館を見学し、最先端の発掘調査、研究についての理解を深めました。その後、隕石研究についての講義を聞き、実際に隕石を観察しました。

午後は、物理、化学、生物、数学の分野に分かれて研究室を訪問しました。施設の見学や研究に関する講義、実験などから研究への関心を深め、大学での学びが楽しみになりました。最後には課題研究のアドバイスの場を設けていただき、今後の研究につながる貴重なご意見をたくさん頂きました。



## &lt;生徒の感想&gt;

- ・ 研修に参加して、恐竜の研究などの踏み込んだ話から私たちの課題研究につながる様々な話が聞けて楽しかったです。午後の分野別研修では、生物分野で先端研究について実験を通じて知ることができました。特に、花粉の化石から過去の植生が分かり、そこからその土地にいつ頃人類が生活し始めたのかが分かる研究についてとても興味がわきました。花粉という小さいものから壮大な話につながる研究がとても面白く、夢のあるものを感じました。課題研究の相談会では、自分の研究していることを他者に伝える難しさを実感したとともに、今後自分の研究をさらに深めていきたいと思いました。

- ・ 今回の研修に参加してとても良かったと思います。午前の恐竜学博物館では、図鑑でしか見たことのない恐竜の骨を実際に自分の目で見て、人間と比較することで、その違いを知ることができました。中でも肋骨の話が興味深く、肉食恐竜は草食恐竜に比べて肋骨が細いことや、背中側だけでなく腹側にもあるなどの話を初めて知り、驚きと楽しさが一気に沸き上がりました。また、宇宙に興味があり、隕石研究の話はとても楽しく、宇宙から来た石を実際に観察することができて楽しかったです。午後の分野別研修では、物理分野の研修を受けました。その中で特に、電気自動車の充電方法でPT対称性を使っていることに驚きました。ワイヤレス充電の機械には、私が知らない法則や技術しか使われていないと思っていたので、自分が知っている法則が使われていることを知り、うれしかったです。また、他の知らない法則や原理については、いつか理解できるように頑張りたいとともに、大学での研究が楽しみになりました。

## &lt;訪問した研究と講義内容&gt;

(数学) 基礎理学科 荒谷督司 (教授)

テーマ: 「代数学の『置換』」

(物理) 物理学科 石田弘樹 (准教授)

テーマ: 「波の物理」

(化学) 化学科 岩永哲夫准 (教授)

テーマ: 「有機合成化学の世界をのぞいてみよう」

(生物) 基礎理学科 藤木利之 (准教授)

テーマ: 「花粉から過去の環境を探る」